

## 第36西村号

北の海で貢献する最先端技術を駆使した関東以北  
最大級の 25m<sup>3</sup> 砕岩浚渫船 兼 415ton 吊起重機船

### 特 徴

#### 砕岩浚渫作業

ディスクブレーキ、水平掘装置を装備し、グラブ刃先の軌跡を自動コントロールし、掘跡を精度良く管理できます。  
25m<sup>3</sup> グラブ、50ton 砕岩棒、大容量ドラムウインチを装備し、硬土岩盤浚渫及び水面下 50m の大深度浚渫ができます。

#### 浚渫施工管理システム

リアルタイム、キネマティック・GPS を利用する船位測定装置及び深度計、トリム・ヒール計を装備し、コンピューターで浚渫位置・深度を記録・保存し、高精度・高効率に管理できます。

#### スパット装置

耐潮流型スパット3基を装備し、作業時の占有面積を最小限にでき、航路・狭水域での作業が可能です。また、アンカーレスで高精度の船位管理及び作業効率の大幅な向上を実現しています。

#### サイドスラスタ装置

推力1.73tonのポンプジェット型スラスタ2基を装備し、係留・位置決めなどの作業効率の向上及び高精度な船位制御が可能です。

#### クレーン作業

主巻最大 415ton、補巻最大 51.5ton 吊、最大ジブ長さ 43.0m を装備し、重量物・大作業半径・高揚程作業など各種作業に対応できます。

#### 浚渫専用シーブ装置

主ジブ先端のポイントシーブから 8.3m 手前に浚渫専用大径シーブを独立で設けることにより、クレーン作業と砕岩浚渫作業を短時間で切り換えることができます。

#### ウインチ・ウインドラス装置

大容量・大能力のウインチ・ウインドラスを装備し、大深度・急潮流下(魚礁設置作業)でも優れた係留・位置制御ができます。

#### 安全衛生

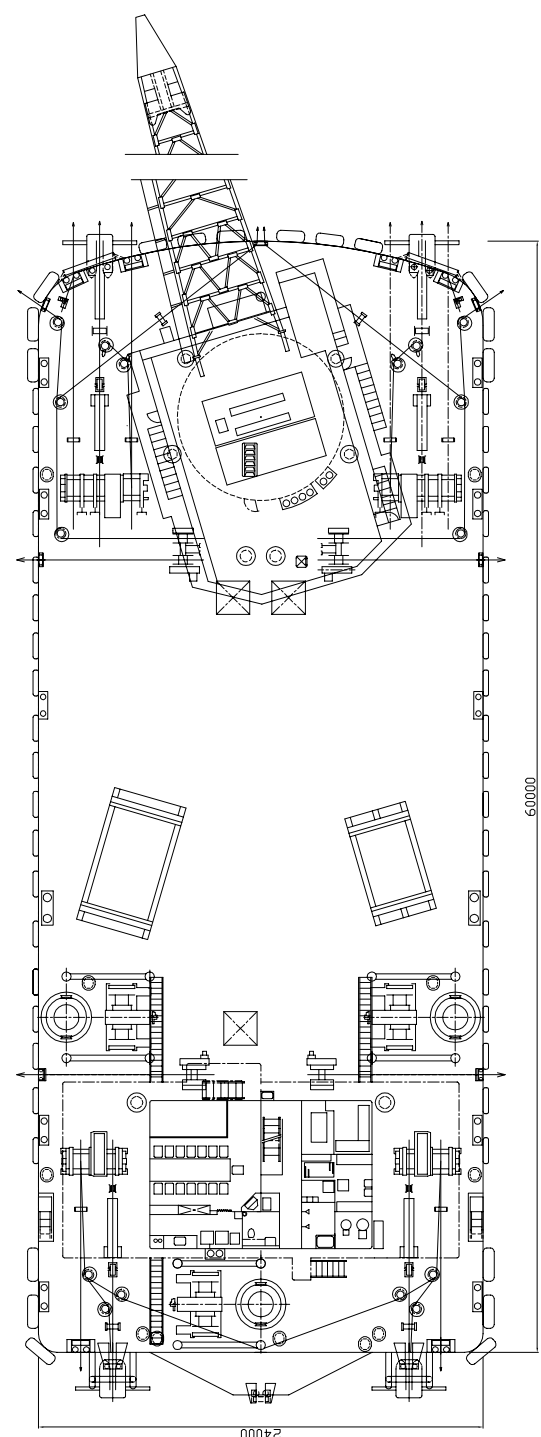
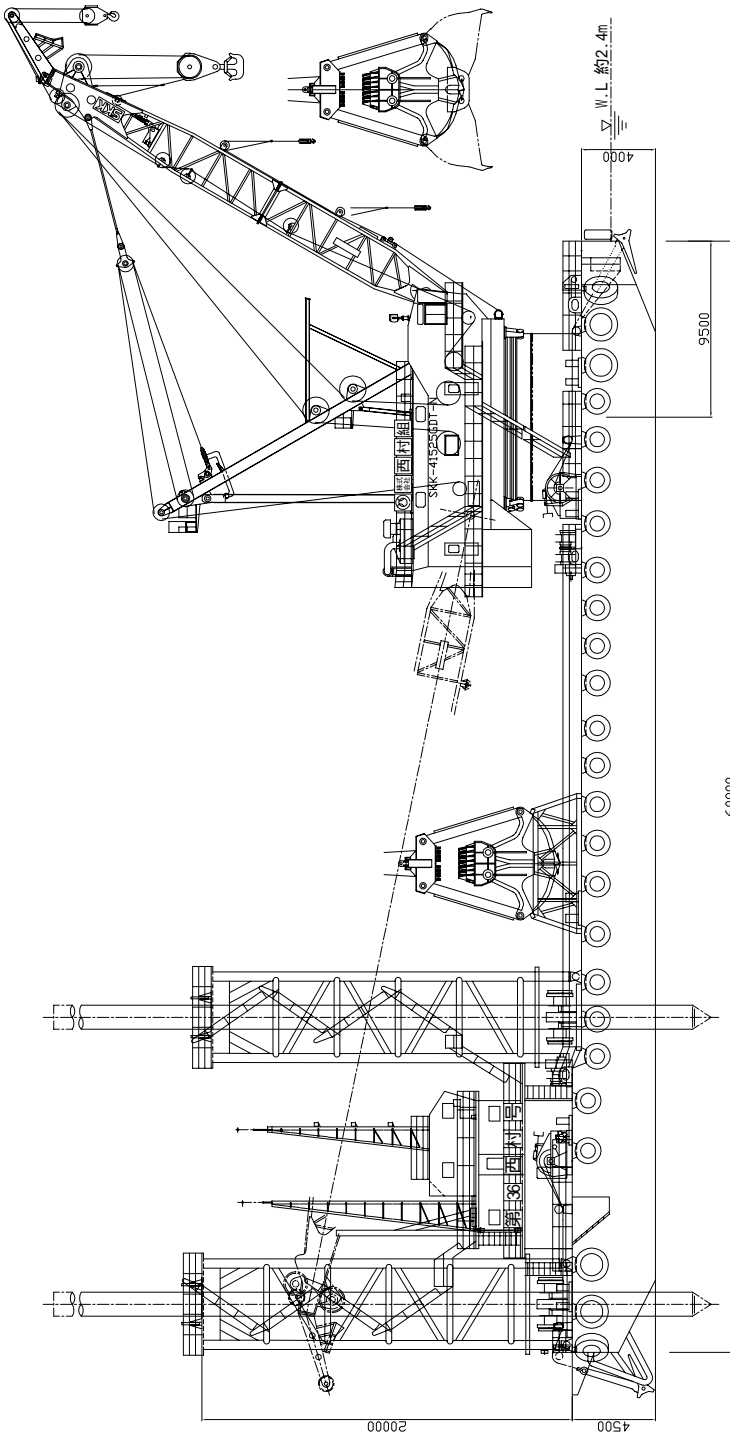
非常用停止装置、監視カメラ、乗降タラップ、膨張式救命いかだ等を装備し、居住施設を含め、安全衛生に配慮しています。

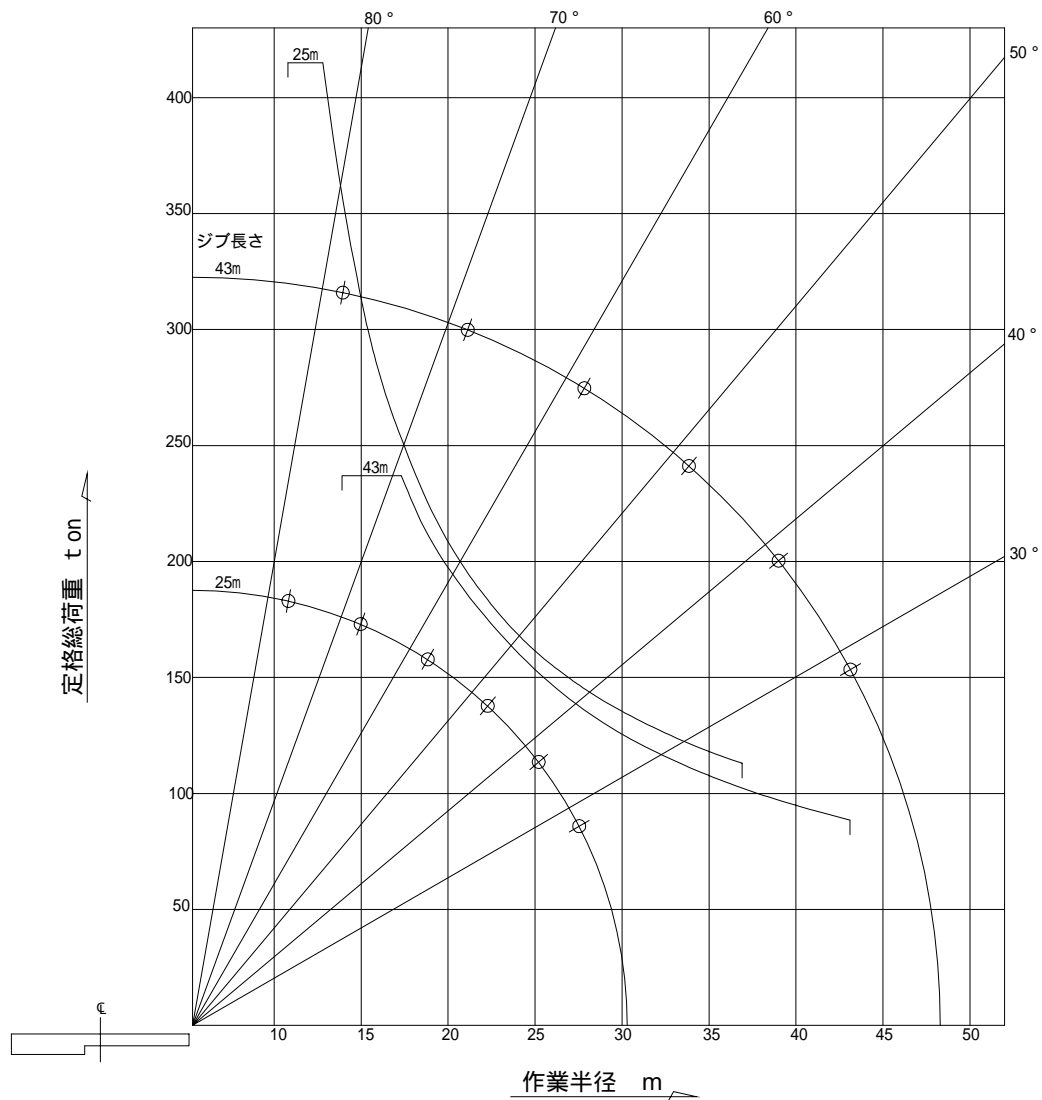
#### 寒冷地仕様

クレーン機関室内には温風暖房機、また各エンジンには冷却水ヒーター装置、清水系統の凍結防止装置など、各所に様々な寒冷地対策を実施しております。

#### その他

万が一の油流出時の対策として、オイルフェンス、吸着マット、油処理剤などの油防除資機材を装備しております。また、甲板上の油圧機器周囲には油流出防止のためのコーミングを施しております。





定格総荷重表（抜粋）

ジブ長さ	ジブ角度	30°	31.9°	35°	40°	45°	50°	55°	60°	65°	70°	75°	75.4°	80°
25.0m	主巻	146	148	152	159	169	182	200	224	258	312	404	415	
	第一補巻	27.6	27.2	26.5	25.2	23.8	22.3	20.6	18.8	17.0	15.0	12.9	12.8	10.8
29.5m	主巻	50.7												
	第一補巻	51.5												
28.6m	主巻	132	137	144	146	152	164	179	200	230	276	356	364	
	第一補巻	30.7	29.4	28.0	27.5	26.4	24.6	22.7	20.6	18.5	16.2	13.9	13.7	11.4
33.1m	主巻	45.5	47.7	50.5										
	第一補巻	51.5												
32.2m	主巻	121	126	132	139	144	149	163	181	207	248	318	326	
	第一補巻	33.8	32.4	30.7	28.9	27.8	26.9	24.8	22.4	20.0	17.4	14.8	14.6	12.1
36.7m	主巻	41.3	43.3	45.9	49.3									
	第一補巻	51.5												
35.8m	主巻	113	117	122	129	138	143	150	166	190	226	289	296	
	第一補巻	36.9	35.3	33.5	31.5	29.2	28.1	26.8	24.2	21.5	18.7	15.7	15.5	12.7
40.3m	主巻	37.8	39.7	42.1	45.2	49.1								
	第一補巻	51.5												
39.4m	主巻	94	98	103	110	118	130	145	150	166	198	249	255	
	第一補巻	40.0	38.3	36.3	34.0	31.5	28.9	26.0	25.2	23.0	19.9	16.7	16.4	13.3
43.9m	主巻	30.5	32.0	34.0	36.5	39.7	43.9	49.6						
	第一補巻	51.5												
43.0m	主巻	88	92	96	103	110	121	135	149	155	184	232	237	
	第一補巻	43.1	41.2	39.0	36.6	33.9	30.9	27.8	25.4	24.6	21.1	17.6	17.3	13.9
47.5m	主巻	28.4	29.8	31.6	33.9	36.9	40.8	46.1						
	第一補巻	51.5												
47.5m	主巻	47.3	45.2	42.8	40.2	37.2	34.0	30.6	27.9	27.0	23.2	19.3	19.0	15.3
	第一補巻													

実際に吊り上げることができる荷重は、表の定格総荷重から吊り具等の重量を差引いた値となります。

主巻フック重量 12TON

第一補巻フック重量 1.9TON

## <第36西村号 仕様>

### クレーン仕様

主巻最大吊能力	ton × m	415.0 × 12.8
主巻作業半径	m	10.8 ~ 43.1
主巻揚程(水面上)	m	17.4 ~ 48.1
主巻アウトリーチ	m	3.3 ~ 33.6
補巻最大吊能力	ton × m	51.5 × 31.3
補巻作業半径	m	12.2 ~ 47.3
補巻揚程(甲板上)	m	19.2 ~ 52.4
補巻アウトリーチ	m	21.8 ~ 37.8
ジブ構成	m	25.0+3.6+7.2+7.2=43.0
巻上速度(フック)	m/min	主巻 0 ~ 15 補巻 0 ~ 10
旋回速度	rpm	0 ~ 1.2
ホイップウインチ		直巻荷重 5ton

### グラブ・砕岩仕様

直巻能力	ton	110		
グラブバケット	ライト	(WL)18.0m <sup>3</sup> × 55.0ton (PL)25.0m <sup>3</sup>		
	ミディアム	(WL)15.0m <sup>3</sup> × 65.0ton (PL)20.0m <sup>3</sup>		
	ヘビー	(WL) 7.5m <sup>3</sup> × 90.0ton (PL)10.0m <sup>3</sup>		
砕岩棒	ton	50ton × 2本 25ton × 1本		
ジブ長さ	m	25.0	28.6	35.8
作業半径	m	12.9 ~ 22.3	16.2 ~ 22.7	21.5 ~ 24.2
ジブ角度	度	75.0 ~ 50.0	70.0 ~ 55.0	65.0 ~ 60.0
巻上速度	m/min	0 ~ 60		
浚渫深度	m	水面下鉛直最大 50		
砕岩深度	m	水面下鉛直最大 50 (落下総揚程 25)		

### 台船部仕様

台船寸法L×B×H	m	60 × 24 × 4.0/4.5
吃水	m	軽荷時 1.8 満載時 3.5
積載部寸法	m	24.0 × 23.0
積載重量	ton	2,400
船員室		個室13室 和室1室

### 船体設備

操船ウインチ・ウインドラス		船首:1軸3ドラム2基、船尾:1軸2ドラム2基	
ウインチ能力 (ワイヤー)		30.0ton × 9.8m/min 15.0ton × 19.9m/min	
ウインチ能力 (ロ - プ)		30.0ton × 10.4m/min 15.0ton × 20.6m/min	
ウインドラス能力		30.0ton × 9.8m/min 15.0ton × 19.6m/min	
土運船引寄ウインチ		船首側:複胴2基、船尾側:単胴2基	
ウインチ能力		7.5ton × 10.0m/min 3.75ton × 20.0m/min	
スパット設備		円筒型:3基	
スパット		1,300mm × 長さ36m 3本	
スパット作業水深		最大25m(水面下)	
ウインチ能力		40ton × 15.9m/min 20ton × 29.0m/min	
サイドスラスター		2基	

### パワープラント

クレーンエンジン	ヤンマー 6N280L-GN
	2,500PS × 750rpm(最大出力)
主発電機	400kVA 2基
補発電機	90kVA 2基